

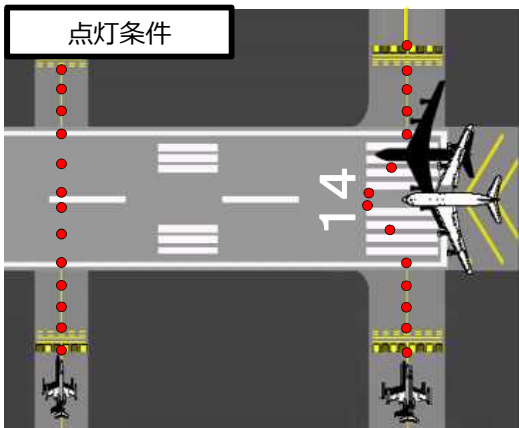
滑走路状態表示灯システムの概要

【滑走路状態表示灯（RWSL：Runway Status Lights）】

- ➔ 滑走路状態表示灯とは、航空機または車両が滑走路を占有（使用）している場合、他の離陸しようとする航空機もしくは滑走路を横断しようとする航空機または車両に対して警告する灯火である。

航空機接近警告灯（REL：Runway Entrance Lights） 滑走路誤進入の防止

点灯条件



点灯イメージ

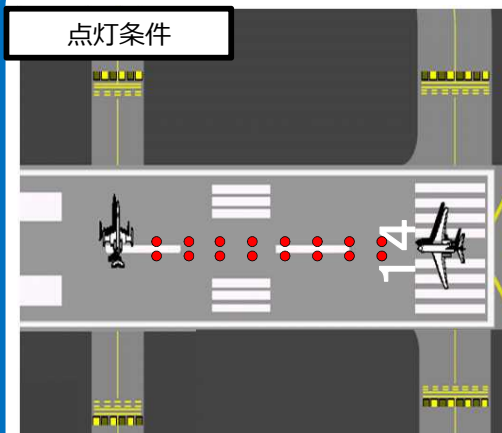


離着陸する航空機がある場合に、滑走路を横断しようとする航空機のパイロットに進入が危険であることを警告するために点灯する。

【導入空港：新千歳空港、大阪国際空港、福岡空港、那覇空港】

離陸待機警告灯（THL：Takeoff Hold Lights） 誤出発の防止

点灯条件



点灯イメージ



滑走路を横断する航空機がある場合に、離陸出発しようとする航空機のパイロットに進行が危険であることを警告するために点灯する。

【導入空港：新千歳空港、大阪国際空港、福岡空港】

可変表示型誘導案内灯（VMS：Variable Message Signs） 航空機接近警告灯の代替

状況に応じ表示を変化

STOP

STOP

可変表示型誘導案内灯（VMS）



- 東京国際空港においては、埋込型灯器であるRELに代えて、滑走路と誘導路の交差部の緑地帯に可変表示型誘導案内灯を設置している。
- 動作に関してはRELと同様に、離着陸する航空機がある場合に、滑走路を横断しようとする航空機のパイロットに進入が危険であることを警告するために点灯する。

【導入空港：東京国際空港】